

【医師用】

主治医様

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行を出来るだけ防ぐことで子どもたちが1日快適に生活できるよう、下記の感染症について登園許可証明書のご記入をお願いいたします。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能状態になってからの登園となるようにご配慮ください。

たんぽぽのこども保育園園長

登園許可証明書

園児名			
病名			
年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので、登園可能と判断します。			
診断日	年 月 日		
医療機関名			
医師名			印またはサイン

●医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日間を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
風しん	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌抗生物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157,O26,O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師により、感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により、感染の恐れがないと認められるまで